科目名	CSU （コミュニケーションスキルアップ）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡田弘子
学科・コース	コミックイラスト	授業 形態	実技	総時間 （単位）	30 （1）		
教員の略歴	2007年度よりCSU講師　日本カウンセリング学会カウンセリング心理士　心療内科非常勤カウンセラー						
授業の学習内容	1．社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2．授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。						
到達目標	1．基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2．自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3．チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。						
評価方法と基準	1）出席回数　50% 2）ワークへの取り組み姿勢　20%（不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点） 3）振り返り試験　30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義 集団演習	＜自己紹介ワーク＞クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。CSUアンケート	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月11日	講義 集団演習	＜クラスの理解＞仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。	
3	5月25日	集団演習	＜名画鑑賞＞協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月15日	講義 個人演習	＜エゴグラム＞心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	6月29日	集団演習	＜なぞの宝島＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月13日	集団演習	＜砂漠で遭難！＞コンセンサス（意見の一致・全員の合致）のとり方を体験する。	
7	8月31日	講義 集団演習	＜アサーション＞適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
8	10月5日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義①＞教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
9	10月19日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義②＞教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
10	11月2日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義③＞教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
11	11月23日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義④＞教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
12	12月7日	集団演習 講義	＜バスは待ってくれない＞協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
13	12月21日	集団演習	＜おもしろ村＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月18日	個人演習	＜試験＞CSUの振り返り　CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15				
準備学習　時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」　CSUオリジナルワークプリント

授業名（時間割表記）	デッサン ⅠA	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐賀永康
学科・コース	コミックイラスト	授業形態	実技	総時間（単位）	60（ 2 ）		
教員の略歴							
授業の学習内容	昨今は画力がなくてもバズれる時代だと思いがちだが、 全てのクリエイティブにはデッサン力が必要である。 実習と講義、両方のアプローチでクリエイターが必要な力の基礎となるデッサン力の習得を目指す。 実技では、鉛筆と消しゴムを用いた伝統的なアナログ表現を実習の基本とし、講義では業界を席巻しているムーヴメントがどのように分布されているのか、分析してゆく。						
到達目標	デッサンは3年間通して履修できるため一年間での習得完了は考えず、復習を繰り返しながら制作の根幹部分の理解を目指してゆく。1年生前期では、『好奇心を持って描画に向き合う』を目標とする。						
評価方法と基準	以下2点を評価の基準とし総合的に評価する。 ①制作物の提出 ②授業の取組姿勢及び理解度						

回数	日程	授業形態	学習内容	学習の準備・心構え
1	4月17日	講義・実習	オリエンテーション/描画実習①	鉛筆デッサン用具一式
2	4月24日	実習	描画実習①続き	鉛筆デッサン用具一式
3	5月8日	実習	ドローイング①/顔の描画について考察	人体の構造に興味を持ってみる
4	5月15日	実習	模写①	入門書などを紐解いてみる
5	5月22日	講義・実習	模写①続き	諦めずに描ききる姿勢を持つ
6	5月29日	講義・実習	風景考察	描画材料へ興味を持つ
7	6月5日	実習	デッサン①	完成させる意識を持つ
8	6月19日	実習	デッサン①講評	責任をもって仕上げる
9	6月26日	実習	ドローイング②	学んだ内容を自宅でも実践してみる。
10	7月3日	実習	ドローイング②	修練を習慣化する
11	7月10日	実習	デッサン②	自作について客観性を持って評価する
12	8月28日	講義・実習	デッサン②	他者との比較によって自作を評価する
13	9月4日	実習	模写	他者から評価されるまで制作を進める
14	9月11日	実習	校外学習	視野を拡張させる
15	／	講義・実習	評価週	
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	

【使用教科書・教材・参考書】毎時限デッサン用具一式持参・　教材、参考資料は随時配付
※授業の進行にあわせ内容が変更する場合があります。

科目名	デッサンクロッキー	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木 弥栄子
		授業形態	実技	総時間（単位）	60時間 2		
学科・コース	コミックイラスト						
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程（油画）修了。画家。						
授業の学習内容	絵を描くことの基本は観察すること！デッサンで対象の観察・描写・修正という一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。						
到達目標	イラストを描くのに必要な、基礎的な観察力・描写力を身につけることを目標とする。 各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力や客観性を身につける。						
評価方法と基準	作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・実技	ガイダンス／風景スケッチ	1日15分のクロッキー（週5枚）
2	4月26日	実技	逆さまデッサン	1日15分のクロッキー（週5枚）
3	5月10日	講義・実技	逆さまデッサン講評／自画像デッサン①	自画像のラフを仕上げる
4	5月17日	実技	自画像デッサン②	1日15分のクロッキー（週5枚）
5	5月24日	実技	自画像デッサン③	自画像デッサンを仕上げる
6	5月31日	講義・実技	自画像デッサン講評／透明化・単純化クロッキー	復習
7	6月14日	実技	女性モデルクロッキー／足・靴のクロッキー	1日15分のクロッキー（週5枚）
8	6月21日	実技	細密デッサン（靴）①	1日15分のクロッキー（週5枚）
9	6月28日	実技	細密デッサン（靴）②	1日15分のクロッキー（週5枚）
10	7月5日	講義・実技	細密デッサン（靴）③／講評	細密デッサン（靴）を仕上げる
11	7月12日	講義・実技	デッサン（ワイン瓶とレンガ）①	1日15分のクロッキー（週5枚）
12	7月19日	実技	デッサン（ワイン瓶とレンガ）②	1日15分のクロッキー（週5枚）
13	8月30日	講義・実技	デッサン（ワイン瓶とレンガ）③／講評	1日15分のクロッキー（週5枚）
14	9月6日	実技	男性モデルクロッキー／手のクロッキー	1日15分のクロッキー（週5枚）
15	／			
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】

デッサン道具一式（鉛筆・練りゴム・カッター・クロッキー帳・ガーゼもしくはティッシュ）、講評用メモ帳

授業名（時間割表記）	ビジネスツール	必修選択	選択	年次	3	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	コミックイラスト3年生	授業形態	実技	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word及びMicrosoft Powerpointについて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	アプリケーションの特徴を活かしてビジネス書類の作成ができるようにする。						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出：60% 評価点（課題評価）：40%（授業で説明した機能を正しく使えているか）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	登校	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4月25日	登校	word：基本的な入力・編集・操作	
3	5月9日	登校	word：各種文字修飾、文書レイアウト	
4	5月16日	登校	word：図形、画像の利用	
5	5月23日	登校	word：表組みの作り方	
6	5月30日	登校	word：表組みの作り方／拡張書式	
7	6月13日	登校	word：ビジネス文書作成（差し込み印刷）	
8	6月20日	登校	word：ビジネス文書作成（差し込み印刷）	
9	6月27日	登校	Powerpoint：基本的な入力・編集・操作。	
10	7月4日	登校	Powerpoint：図形、画像、表組みの利用	
11	7月11日	登校	Powerpoint：良いスライドを作るには	
12	7月18日	登校	Powerpoint：スマートアート	
13	8月29日	登校	Powerpoint：アニメーションや画面効果	
14	9月6日	登校	Powerpoint：プレゼンテーションを作る	
15			評価週	
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】

授業名（時間割表記）	デッサンIIIA	必修選択	選択	年次	3	担当教員	城　哲也
学科・コース	クリエーティブデザイン科昼ー3年B	授業形態	実技	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	イラストレーション、キャラクターデザイン						
授業の学習内容	デッサンをする意義の理解。デッサンをすることが目的ではなく、デッサンをすることでデッサン力を身に付けるための授業。デッサン力とはクリエイティブ活動において、クオリティーを下支えする基本的な能力である。この授業では見たものを正確に表現するための構図、立体表現、空間表現、質感表現、構造や動きなどを勉強することにより、ものの見方の豊さや表現技術の向上を目指します。						
到達目標	見たものを正確に表現できる経験により、学生自身が表現したい作品において、クオリティーを高めるための客観的な視点や判断能力と表現技術の獲得。多様なテーマに対する対応能力の獲得。						
評価方法と基準	課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義と実技	講義と静物デッサンと個人面接	身の回りのものをデッサン
2	4/27	実技と講義	上記の続きと個人面接と全体講評会	身の回りのものをデッサン
3	5/11	実技	静物デッサン	自分の手をデッサン
4	5/18	実技と講義	上記の続きと全体講評会	身の回りのものをデッサン
5	5/25	実技	石膏デッサン	身の回りのものをデッサン
6	6/1	実技	上記の続き	人物写真をスケッチ
7	6/15	実技と講義	上記の続きと全体講評会	身の回りのものをデッサン
8	6/22	実技	静物デッサン	身の回りのものをデッサン
9	6/29	実技と講義	上記の続きと全体講評会	自画像
10	7/6	実技	女性モデル（コスチューム）	身の回りのものをデッサン
11	7/13	講義と実技	モデル講評と静物デッサン	身の回りのものをデッサン
12	7/20	実技と講義	上記の続きと全体講評会	街中をスケッチ
13	8/31	実技	静物デッサン	身の回りのものをデッサン
14	9/7	実技と講義	上記の続きと全体講評会	身の回りのものをデッサン
15	／		評価週	
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	

【使用教科書・教材・参考書】

鉛筆、カッター、プラスチック消しゴム、ねり消しゴム（鉛筆はできれば6B～6Hは欲しいが、最低でも4B～4Hは必要）